

気仙沼で夏まつり開く

震災ネット北海道の僧侶らが主催

北海道教区の僧侶有志らで組織する「震災支援ネット北海道」は7月18日、宮城県気仙沼市の民間ボランティア「ゲットボックス」(渡辺道徳代表)と協力し、「つながりフェスタ気仙沼2011」を同市の鹿折小学校グラウンドで開いた。

渡辺代表から同ネットに、被災地を元気にするような夏まつりを開いてほしいという要望を受け実施。同ネット



楽しんだ。その売上げ

の一部を地元の児童養護施設へ届けた。

また、歌手のふくい舞さんと、大阪府茨木市のるんびに太鼓(代表)藤慶哉・西福寺住職)の中高生らが駆け付けて演奏、フェスタを盛り上げた。最後

は、環境に配慮した風船1000個を、訪れりとした時間を過ごした。35人が参加してゆった大会で、大人たちは北海道物産市で買った物

が復興への願いを込めて大空へ飛ばした(写真)。

フェスタ企画委員長の豊田靖史さん(北海道日高町・西光寺住職)は「多くの皆さんに喜んでもらえてよかったです。今後もボランティアの輪を広げ、支援活動の可能性を広げていきたい」と語った。

同ネットは、19日には岩手県花巻市でもフェスタを開き、津波で大きな被害を受けた同県大槌町や釜石市から避難した100人が訪れた。20日には気仙沼市市民を対象に日帰り温泉バスツアーを行い、